



2018



CHARTERED SEPT.11.1953

# Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO YAMATE

YAMATE YMCA, 2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO TEL. 03-3202-0321 FAX.03-3202-0329

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-18-12 山手YMCA内

2018 - 19 会長主題

## 地元とつながろう

あずさ部長	廣瀬 健 (甲府 21)	「未来はそれに備える人のものである」
東日本区理事	宮内友弥 (東京武蔵野多摩)	「為せば、成る」
アジア太平洋地域会長	田中博之 (東京多摩みなみ)	“ Action ”
国際会長	Moon Sang Bong (韓国)	“ Yes, we can change ” 「私たちは変えられる」

会長 浅羽俊一郎 / 副会長 尾内昌吉 / 書記 尾内昌吉 / 会計 中村孝誠  
 直前会長 上妻英夫 / ブリテン 功能文夫 / 担当主事 星住秀一

**2018年11月例会**  
 <ワイズ理解・ファミリーファストの月>

と き **11月20日(火) 14:30-16:30**  
 と ころ **早稲田奉仕園 102号室**  
 新宿区西早稲田2-3-1  
 TEL03-3205-5411  
 地下鉄東西線「早稲田」駅から徒歩5分

受付	飯島(愛)さん・功能さん
司会	尾内さん
開会点鐘	浅羽会長
モットー・ワイズソング	一同
聖句朗読・祈祷	尾内さん
ゲスト・ビジター紹介	会長
ハッピーバースデー	
話し合い	
「山手クラブの夢を語ろう」	一同
ニコニコ	一同
報告・連絡事項	各担当
閉会点鐘	会長

当番 (第1班) 功能、上妻、尾内、飯島 (愛)

**ワイズメンズクラブ モットー**

『 強い義務感をもとう  
 義務はすべての権利に伴う 』

“ To acknowledge the duty  
 that accompanies every right ”

**今月の聖句**

(イエスは) また、群衆が飼い主のいない羊のように弱り果て、打ちひしがれているのを見て、深く憐れまれた。そこで、弟子たちに言われた。「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫のために働き手を送ってくださるように、収穫の主に願いなさい。」  
 マタイによる福音書9章36-38節

今月の聖句はクラブ会員増強が念頭にありました。ワイズのようなサークルを求める人が世間で大勢いるなら、どうやってその人たちにワイズを知ってもらえるのでしょうか。(浅羽)

**11月 HAPPY BIRTHDAY**

中村孝誠さん 4日 福村佐和子さん 10日  
 上妻英夫さん 30日

**10月報告**

会員在籍数	13名
例会出席者	メ ン 10名
	メ ネット 1名
会員出席率	77%
ゲスト・ビジター	2名
	合計 12名
ニコニコ	5,780円 (累計 9,780円)
B F 国内切手	-g 外国切手 -g

会費の納入は、会計(中村君)への納入または下記銀行口座への振込みをお願いします。  
**三菱 UFJ 銀行 高田馬場駅前支店**  
**普通 3548431 「東京山手ワイズメンズクラブ」**



## 10月報告

とき：10月16日（火）14：30～16：30  
 ところ：早稲田奉仕園 102号室  
 出席者：浅羽、飯島（愛）、飯野、尾内、尾内（規）  
 機能、星住 増野 8名  
 ゲスト・ビジター  
 福島 正さん、福島多恵子さん 2名  
 合計 10名

増野さんが「昼の会合はできないか」というご意見を山手ブリテン本年2月号に投稿されたことはまだ記憶に新しい。その昼間開催が、図らずも今回実現した。山手センターが耐震工事中で使えないという事情の中で、この機会に実験してみようということになったのである。

増野さんも喜んで出席であり、司会もお願いしたところ快諾いただいた。

10月のハッピーバースデーは飯野さんをお祝いした。飯野さんは65歳になったが、これからも楽しくワイズ活動をしたい、と挨拶された。

そして、話し合い「これからの山手クラブを考える」の時間に入った。

増野さんは、はじめに、「皆さんお一人お一人の

夢を含めて、話してください。夢を語っていると、その中に何かできるものが見つかります。」また、「気持ちを切り替えることが大事です。これでダメだと思ったら、もうダメです。夢を話すことにしましょう。」と冒頭の挨拶をされた。

**飯島愛子**：設備があれば夕食を作ってみんなで食べたい。例えばカレー。

**尾内規子**：歌を歌いたい。例えば「荒城の月」

**尾内**：東京Yのチャリティーゴルフや募金活動に友達をさそう。

**機能**：東京山手クラブは東・西日本区を合わせた設立順で見ると20番目のクラブで、東日本区だけで見ると横浜、東京、仙台、甲府に次ぐ5番目の伝統あるクラブである。人が減ったから解散という単純な策を取るわけにはいかない。他クラブと合併してより大きくなるという道も考える。

**飯野**：現役リーダーと交わるプログラムを1年に1回ぐらい取り入れたら。キャンプソング、外にでかける。

**福島**：今93歳。目黒クラブが解散して2年になるが、ワイズをやめたつもりはない。休会中。妙高高原での家族キャンプがよかった。

**浅羽**：地元とのつながりを何とかしたい。地元の方には「YMCAは敷居が高い」といわれる。

キリスト教の布教活動の危惧も考えているのかも。

なお、浅羽さんから、上妻さん、中村さんの下記の意見の紹介があった。

**上妻**：ワイズの国際性をもっと強調したら。

**中村**：今の山手クラブは解散して新クラブを作る。子クラブを作る。

みんなの意見表明が一回りしたところで、増野さんが、みなさんの意見をまとめられた。

例会の中に、あるといいもの。

国際性ある話を聞く(例、ミャンマー難民支援)

楽しい歌

体を動かす(わくわくサロンのような)

食べ物はおいしくいただく

(まとめ・機能)

## ヨルダン会(10月)

日時 10月24日(水) 14:30~16:00

場所 華屋与兵衛

出席 浅羽、上妻、飯野、中村、尾内

議事

- 1 10月例会を振り返る  
浅羽会長よりまとめの報告あり。  
山手クラブ存続を前提に今後のクラブ運営につき討議した。  
11月~来年3月までは14:30~16:30の昼間の例会とする。
- 2 11月例会  
前回に続き具体的に何をするかを話し合う。
- 3 12月例会  
12月26日 サイゼリアでクリスマス例会を行う案を次回例会にはかる。
- 4 12月15日(土) 松本クラブ30周年・アジア賞授賞式
- 5 1月5日(土) 在京ワイズ新年会  
浅羽、飯野、尾内 出席予定
- 6 9月、山手・たんぼぼ合同例会でのニコニコ合計10,037円は、両クラブの西日本豪雨災害募金として東日本区に送った。

### ○奈良信さんの近況

10月15日から中野江古田病院にご入院中ですが、現在は肺炎も治り、ご回復中とのこと。

12月22日に満96歳になられる奈良信さんのご健康をお祈りいたします。

## YMCAニュース

### 1. ソフトボール大会

10月8日、「第35回オール東京YMCA・近隣YMCA会員ソフトボール大会」が開催され、各部のリーダー、幼稚園児の保護者、専門学校の学生や留学生、職員ほか、近隣のYMCAや賛助会企業からも参加がありました。12チーム275名がスポーツを通じて交流を深めました。

### 2. 西日本豪雨災害リーダー派遣

西日本豪雨災害のボランティア報告会が10月17日に東京YMCA本部会議室で開催され、管理職スタッフや会員など、約40名が参加しました。広島YMCAは安芸区のボランティアセンターと協力して支援活動を行っていますが、東京YMCAから9月10日~14日に派遣されたスタッフ2名と9月24日~28日に派遣されたスタッフ2名から、いまだに困難な状況にある現地の様子や、家屋の泥だしなどの作業の実際、ワークを通して感じたことなどが報告されました。

10月27日~28日の週末に子どもたちを対象にしたリフレッシュキャンプが広島YMCAで実施され、東京YMCAから山手センター職員の押山氏、山手・南センターのユースリーダー4名が参加をしました。引き続き全国YMCAが協力して、2,500万円を目標に募金活動を継続しています。

### 3. じゃがいも販売

北海道YMCAを支援する十勝ワイズメンズクラブのじゃがいも・かぼちゃを数量限定で販売しました。入荷にあたっては今年も世田谷ワイズメンズクラブの小原さんにご支援いただき、山手舎生と協力して搬入作業を行いました。益金24,777円は障がい児プログラム支援に用います。

(星住秀一)

## おたより (10月)

<上妻英夫さん> 「山荘や 朝餉(アサゲ)に吾の栗おこわ」 敷地内の栗拾い、朝食に。



## 第22回あずさ部部大会に臨んで

浅羽俊一郎

10月20日(土)11時少し前に甲府駅に下車すると早速他クラブの懐かしい顔と挨拶を交わす。待ち合わせしている彼らを後に岡島ローヤル会館に向かう。GPSのお陰で迷わずに会場に到着すると甲府21クラブの面々から一番乗り、と告げられる。

前回までは「～部会」と銘打っていた恒例の会合だったが、今期からは「部大会」と名称変更。さて、**第1部 部会**は部書記の古屋メンが司会。廣瀬部長が開会点鐘・挨拶で出席した102名を歓迎。そして先日召天された平原貞美メンの功績を称えて全員で黙祷を捧げた。続いて来賓の祝辞。樋口雄一甲府市長は自らが部長と竹馬の友ということと甲府市が2019年は開市500年を祝うことも忘れずPR。宮内理事も元気になって挨拶。山梨YMCA理事長の大澤英二メン(甲府)は新館への移転に向けたYMCAとワイズとの一層の協力を強調した。

主査報告に続いて特別講演は精神科医の功刀弘氏(甲府21)がうつ病と認知症の予防について語られ、ご自身の40年に及ぶ医療活動からの知見をスライドを見せながら紹介。曰く「睡眠の前半はノン・レム睡眠と言って脳の疲労回復に必要で、身体疲労の回復は後半のレム睡眠が大切」と。

**第2部 懇親会**は米長晴信メンが司会。予めクジ引きで指定されたテーブルにバラバラに着席し、面識のなかったメンと歓食。あずさ部次期部長の赤羽美栄子メン(松本クラブ)の乾杯の音頭で始まり、山梨英和学院生によるハンドベルの美しい調べを聞き、後半は歌声喫茶「あずさ」と銘打つ

て懐かしい歌をいっぱい歌った。自前の歌集を皆のために用意し、プロのソプラノ歌手の杉田博子さんのほかにピアニスト、鍵盤ハーモニカ奏者がかつての歌声喫茶ムードを醸し出すという力の入れ様。それにしても私より上の世代のメン・メネットが仲間と歌うのがホントに好きなんだということに改めて驚いた。まさに歌声喫茶世代。終盤は出席クラブ紹介、アピールタイム。「あずさの道」斉唱では杉田さんが素敵なソプラノでリード。私のそばで歌っていたメンの感想「今まで何となく皆に合わせていたが、今回やっとメロディーが分かった。悪くないよ」。最後はYMCAの歌と閉会点鐘。

散会后、平原メンのご遺族の計らいで遠方から来たメンのためにお通夜を早めてもらえたということも多くメンはそちらに行かれた。とても充実した1日だった。廣瀬部長、甲府21の皆さん、ありがとうございました。

山手クラブからは尾内、中村、浅羽の3名が出席しました。

以上

.....

### <付記>

10月は当クラブ例会・部大会の他、世田谷クラブ例会に出席し、卓話でロールバックマラリアに必要な基礎知識を復習。地元で活動している方がゲストで来られていてヒントを得ました。

27日の次期役員研修会にLT委員として出ました。沖縄クラブの森田氏が湘南・沖縄部長に。那覇での次期部大会には行きたい。(浅羽)